

創刊200号

1957～2012



発行所
白山市西新町159-2
松任産業会館内
石川税務連絡協議会
石川地区納貯連
松任税務署管内青申連
石川農業青申連
(社)松任法人会
松任間税会
北陸税理士会松任支部
印刷所 石川サニーメイト

霊峰白山の恵み

白山菊酒

石川酒造組合 白山菊酒呼称統制機構

『納税いしかわ』200号を祝し、益々の発展を祈ります

白山市商工会

美川商工会

鶴来商工会

野々市市商工会

白山商工会議所

野々市市議会

白山市議会

野々市市

白山市

「納税いしかわ」編集会議のみなさん

石川税務連絡協議会会長
石川地区納税貯蓄組合連合会会長
松任法人会会長・編集委員長
松任税務署管内青申連会長
石川農業青申連会長

金谷 与平
宮森 紀好
瀧元 達雄
南 一雄

松任間税会会長
北陸税理士会松任支部長
松任税務署長
白山市税務課長
白山市納税課長
野々市市税務課長

西村美規夫
野崎 哲男
稲田 精一
毛利 文昭
辻 正一
澤村 昭子

【編集委員】

石川納貯連
松任法人会
石川農業青申連
松任間税会
北陸税理士会松任支部

池森 政宏
町 寿
番野 欣弥
山口 晃一
林 斌麗

『納税いしかわ』は今回、創刊54年で200号を迎えました。民間の税務関係6団体の組織によつて発行し、管内全戸配布を続けているのは全国的にも珍しい存在です。財政・税制の変革期にあつて、納税者・市民の自主的な広報誌、『納税いしかわ』への期待は一層大きいようです。200号の歩みを振り返り、助言やアイデアをいただき、親しみやすい紙面づくりに努めたいと思います。(座談会では、順不同で発言をお願いし、編集委員会ですとめさせていただきます。1頁の写真は白山市提供。)

金谷 この会報は、石川地区納税貯蓄組合連合会(石川地区納貯連)の誕生を機に創刊され、石川税務連絡協議会(石川税連協)が共同発行するかたちで受け継がれてきました。よくぞ200号まで続けられたなあと思います。これは編集委員の努力と関係当局のご協力のお陰です。

陰に

稲田 創刊以来半世紀を超える

200号記念座談会

わけで、納税者の税に対する考え方、知識などは相当違つてきたのではないでしょう。か。発行、編集の陰には知られざるご苦労が多かつたと思います。私どもとしては、国民の皆様に適正な申告納税制度の推進と納税意識の高揚を図つていただいていることに感謝し、敬意を表します。

特にこの地は納税者人口の増加が続いている中、このような広報活動が定着していることの意義は

堅い税の話を 柔らかく?!

大きいと思います。澤村 納税者と市民をつなぐパイプ役として、税務行政に理解と信頼を深めていただき感謝しています。野々市町は昨年11月、人口5万人超の単独市制を施行し、野々市市になりました。会報が繋ぐ各会との間で先輩方が長年築いてこられた関係も、市制施行に大きな力になりました。今後ともこの良い関係を大切にしたいと願っています。

再び

辻 私が、初めて税務に携つた昭和61年1月に100号が発行され、26年後の今年、再び納税職員として200号発行を迎えることに因縁めいたものを感じています。合併や市制施行など地方行政の変化も大きく、歴史の重みを感じます。

宮森 傘下6団体からの代表者・編集委員で各号の編集会議を開き、紙面内容などを検討し、執筆依頼や取材をしています。私が編集委員になったのは平成5年。その時、編集委員長が初代

戦後

の青木信孝さんから中根重治さんになり、この年度の130号から全戸配布の4万3千部体制になりました。編集委員長が次の中野秀雄さんに交代した平成9年には、B5から現在のA4サイズになりました。中野さんから私が編集委員長を受け継いだのは平成17年、今回の200号で、委員・編集委員長を通じ18年にもなっていることに驚いています。

番野 石川農業青色申告連合会は昭和31年に結成をしましたが、石川税連協への加入は昭和45年です。戦後の混乱、激動の時代から税制の整備、変革期へと、納税意識の高揚と税知識の普及に広報紙が果たしてきた大きな役割を実感します。

金谷 親しみやすい紙面にと願う編集委員の苦労は随分見えました。郷土の人、郷土の文化ふるりの清流の連載などもそうです。トップ写真は顔です。から特に気を使っていますね。

200号の歩み

- ◎昭和34・11・25創刊 石川地区納税貯蓄組合連合会が結成、機関紙『石川納貯連』を創刊
金谷与平会長、田谷充実石川県知事、桃井直造金沢国税局長、中森清石川県税務所長、木藤清次松任税務署長の寄稿など
タブロイド判(新聞紙の半分大)2P、組員、関係機関などに配布、題字は美川信用金庫勤務・日展無審査出品の小笠原富堂筆、以後ほぼ2〜4P、年4回発行
3号『千代尼』編から地域の文化財を随時紹介
◎38・3 豪雪税務対策特集
◎42・11 29号からB5判に
◎43・7 石川郡税務運営協議会が石川地区納貯連、松任法人会、松任税務署管内青色申告会連合会の3団体により創立
◎45・5 石川農業青色申告連合会が加入
◎45・7 松任税務署が現庁舎へ
◎45・10 松任市制施行
◎46・5 石川税務運営協議会に改称
◎46・11 石川地区納貯連20周年特集
◎47・5 石川税務協力会に改称
◎47・7 46号から題字『納税いしかわ』に、創刊時と同じ小笠原富堂氏筆
◎47・11 47号から石川納貯連と、松任法人会、管内青申連、石川農業青申連による石川税務協力会の共同発行に
◎50・2 『郷土の人』連載「本

町 もう十年になるでしょうか、新聞編集の経験者が編集に参加し、直接、撮影や取材をするようになりまし。レイアウトや見出しにも活気が感じられるようになったと思います。

池森 「ふる里の清流」などの現地取材や関係者への直接インタビューには助かりました。発行回数に限られているだけに、報告や予告記事のタイミング、新鮮さにも気を配りますね。

写真

宮森 余談ですが、平成14年頭号の「白山本宮奉納神馬」の写真が傾いていてびっくり。事務局に電話を入れたところ、「新年に勢よく飛び跳ねるイメージ」ということでした。

林 昨秋に編集委員になり、編集に苦心されていることを目の当たりにしました。近年はeTax、eLTAXの利用推進にも紙面が割かれ、税務環境の変化を実感します。社会進展の礎である国・地方財政の支えの一助にという、編集の熱意を改めて伺い知りました。

世代

瀧元 中学生の税に関する作文の募集や入賞作品の掲載などは日本の将来の礎になる教育を目指したものです。これからも次

発行の財源難 ここも厳しく



①創刊号『いしかわ納税連』②昭和47年に『納税いしかわ』に改題し昭和50年7月号から発行母体も現・石川税連協に③昭和61年1月の100号記念号

の世代に継がる会報であることを願っています。会報が今日までよくぞ続いたと思う中で、リニューアルも課題になりそうです。

西村 税に関する広報となれば元々「堅い」印象がありますね。それを「親しみやすく」「易しく」「柔らかく」というわけですから、苦労は推察します。紙面の制約もあるのですが、「やれること」からの工夫、努力でしょうね。納税啓発はもちろんですが、全戸配布でもあり、市民向けに各種の節税措置の紹介などがあっても面白いですね。税のワンポイント的な記事なら興味をもって読んでもらえ

金谷 納税者の「声」や「質問」を募るのはどうでしょうか。

お得

毛利 「読んでお得な(節税)コーナー」といった控除関係、良々ある質問・回答など、わたしたち税務行政サイドや北陸税理士会から提供できる資料はあると思います。また、納税意識の喚起のために、滞納者や脱税にはどのように対応しているか、紹介可能な事例もあると思います。

野崎 そうですね。私達も出来るだけ協力したいと思います。山口 発行体制や紙面拡大に踏み込んだ改革には予算が伴いますので悩ましいですね。税につ

広告

池森 発行財源を補う広告の募集・依頼が近年は大変厳しくなっています。何か方策はないかと、思案投げ首です。

金谷 広告には苦勞してきまして。しかし、全戸配布を支えるための欠かせない資金源です。引き続き、会員・管内企業の皆さんのご協力、白山市、野々市市のご理解をお願いしなければならぬでしょう。

稲田 税への関心はますます高まって、『納税いしかわ』の重宝度も増すでしょう。これから管内の皆さんに愛される『納税いしかわ』の発行を期待します。

宮森 200号後へ、激励いただきありがとうございます。工夫・改善・改革に努めたいと思います。今後とも各方面のご協力をよろしく願います。

- 吉豪商紺三」から62・2「勳皇志士小川幸三」まで33編
- 50・6 発行母体の石川税務協力会を石川税連協協議会(石川税連協)に改称、52・6松任間税会が加入し、傘下5団体に
 - 56・1 80号 新春座談会など
 - 61・1 100号「税務署長を囲む座談会」など
 - 61・2 100号発行記念祝賀会
 - 61・7 事務局・編集委員会を現在地・松任産業会館4階に
 - 平成5・7 130号から管内全戸配布、4万3千部
 - 8・1 140号、松任税務署開庁100周年で篠原芳尚松任税務署長らが寄稿
 - 9・7 146号からA4判に
 - 10・7 150号記念
 - 10・11 石川税連協30周年記念式・講演会 50・2から62・2まで連載『郷土の人』(33編)の抜き刷り冊子を希望者に頒布
 - 14・11 『ふる里の清流』連載「安産川・美川」から23・11「手取川」まで10回
 - 17・2 白山市発足
 - 17・5 北陸税理士会松任支部加入で石川税連協傘下6団体に
 - 18・1 180号「法人会全国青年の集い・石川大会」特集
 - 19・1 新春eTax座談会
 - 20・2 石川税連協40周年新春座談会、全国納税連北陸大会特集 年4回発行を3回に
 - 23・11 野々市市制施行
 - 平成24・2・1 200号 6万2千部

公的年金等を受給されている方へ(平成23年度税制改正)

平成23年分以降の各年分について、公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下(※1)で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額(※2)が20万円以下である場合には、所得税の確定申告をする必要がなくなりました。

■この場合であっても、所得税の還付を受けるための確定申告書を提出することができます。

■公的年金等に係る雑所得以外の所得があり、その所得金額が20万円以下で所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。住民税に関して詳しいことはお住まいの市役所税務課にお尋ねください。

所得の種類	所得の内容	所得金額の計算方法
給与所得	給与・賞与、パート収入など	給与等の収入金額 - 給与所得控除 なお、給与等の収入金額が85万円を超える場合には、所得金額は20万円を超えることになります。
雑所得 (公的年金等以外)	個人年金、原稿料など	総収入金額 - 必要経費
配当所得 ※上場株式等に係る配当所得の申告不要制度を選択した場合は除きます。	株式や出資の配当など	収入金額 - 株式などの元本取得に要した負債の利子
一時所得	生命保険の満期返戻金など	{総収入金額 - 収入を得るために直接要した金額 - 特別控除額(最高50万円)} × 1/2

※1 複数から受給されている場合は、その合計額です。

※2 「公的年金等に係る雑所得以外の所得」で主なもの所得金額の計算方法は、左表のとおりです。

— 確 定 申 告 は お 早 め に —

平成23年分の申告と納税は、所得税・贈与税は平成24年3月15日(木)まで、消費税は平成24年4月2日(月)までです。

申 告 会 場			
松任税務署 (白山市博労2丁目22)	事業所得者・消費税課税事業者・ 不動産所得者・譲渡所得者・ 住宅借入金等特別控除 等	2月16日(木) ～4月2日(月) ※土・日・祝日を除く	時間はいずれの会 場も、 (午前) 9:00～12:00 (午後) 13:00～16:00
白山市民交流センター3階	住民税、年金所得者・給与所得者・ 小規模白色事業者・小規模農業所得者 (内容が複雑なものは税務署へ)	2月16日(木) ～3月15日(木) ※土・日を除く	
白山市各支所			
野々市市情報交流館カメリア			

公的年金等の「北陸税理士会松任支部の無料税務相談会」と市の「申告相談会」(同時開催)

開 催 日	場 所	時間はいずれの会場も、 (午前) 9:00～12:00 (午後) 13:00～16:00
2月6日(月)、7日(火)	白山市民交流センター3階	
2月13日(月)、14日(火)、15日(水)	野々市市情報交流館カメリア	
2月16日(木)、17日(金)、20日(月)、21日(火)	白山市 鶴来支所	
2月16日(木)、17日(金)、20日(月)	白山市 美川支所	
2月16日(木)、17日(金)	白山市 鳥越支所	
2月16日(木)	白山市 吉野谷支所	
2月16日(木)	白山市 白峰支所	
2月16日(木)	白山市 河内支所	
2月16日(木)	白山市 尾口支所	

にせ税理士にご注意!

◆◆便利で確実な振替納税をご利用になりませんか!◆◆

『振替納税』～ご指定の預貯金口座から自動引き落とし!～

《 所得税の場合 》

3月15日(木) 納期限

振替納税を利用する

4月20日(金) 口座から振替納付

〇〇〇
確 安
実 便
利 利
で 便
す 利
す

《 消費税及地方消費税の場合 》

4月2日(月) 納期限

振替納税を利用する

4月25日(水) 口座から振替納付

納期限までに ①預貯金先の金融機関又は税務署に

②届出印を押した「預貯金口座振替依頼書」を提出 これだけで手続きは完了です!

(注意) 残高不足等で振替できなかった場合、納期限の翌日から延滞税がかかりますので振替日の前日に預貯金残高を確認してください。

国税庁ホームページで
申告書作成

書面印刷
又は
e-Tax

(お問合せ)
松任税務署
TEL 276-2345



納税貯蓄組合法60周年

石川納貯連が研修会
昨12月白山市内で会員40人が参加して開かれました。

稲田精一松任税務署長が、税務の第一線で働く職員と納税者の面談場面なども披露、申告所得税の期限内納付に果たしてきた納貯連の意義を強調しました。金谷与平会長も、創立以来会

長を務める石川納貯連の歩みについて経験談を交えて財政・納税秩序の重要性を指摘し、その生き証人的な講話に、懇談会でも質問や感想の交換が続きました。

松任間税会も研修会

昨11月、税を考える週間行事として開催。北陸財務局から、

中小企業に役立つ『地域密着型金融』と題し、金融機関と地域の商工会議所などと連携した経営支援や地域の活性化策が紹介され、稲田精一松任税務署長から、ヨーロッパの付加価値税に着目した消費税の創設に果たした間税会の役割も話され、改めて間税会への認識を深めました。

全国納税貯蓄組合連合会優秀賞

公募 中学生の作文

私が今回、この作文を書いたのには理由があります。日々変わり続ける日本。新しい技術や文化が次々と生まれ、回り続ける世の中。そんな中で私達は生きていますが、

読み進めていくと、あるページが目にとまりました。それは、インターネットで納税などの手続きができるというものです。

私達の暮らしの支えとなっているのは一体何か、とふと考えてみたのです。いただいたパンフレットを読んだとき、その支えは税金である事を知って、より税金というものに興味がわきました。この機会に、自分の税金に対する考えを深め、世の中をもっと見つめてみようと思いました。これが、私の中で一番大きな理由です。

私は始め、納税は国民が税務署に行つて行うものだと思つて

私達の暮らしに「幸せの柱」を

布水中学校2年 得田 奈央子



がたいことであり、幸せなことだと思えます。世界には、勉強したくても事情があつて勉強できない子供達もたくさんいるのに、私達は当たり前のように勉強ができる、部活動ができる。これ程までに幸せなことが、世の中に存在するのでしょうか。私は、存在するはずがないと思います。

いたのですが、インターネットでもできるということを知り、大変驚きました。それと同時に、日進月歩の日本の技術が大いに発展している、ということを実感しました。インターネットで納税することができれば、税務署にわざわざ足を運ぶのが面倒だと思つていた人も、お年寄りも、どんな人でも、より気軽に納税することができると思いました。

しかしその納税も、温かい気持ちとより良い街づくりに貢献したいという強い想いがなければ、納税したとは言えないと思います。大きく温かな気持ちのこもった税金が納税された時こそ、太く安定した幸せの柱ができるのです。いやいや納められた税金は、一時的には柱になつても、後から必ずくずれてしまふでしょう。だから私は将来、立派な「幸せの柱」を建てるため、温かい税金を納めます。

パンフレットを読み進めていくと、私が普段から使っている教科書も、税金が納められてい

子供達の教育の場でも、税金が役に立っている事を学び、私はまたパンフレットを読み進め

今回、「税金」というものに

夢 薬剤師



夢のそばに。北國教育ローン
青春応援
キャンペーン

平成24年4月27日(金)まで

魅力の金利

ゆとりの15年返済

最高500万円

★他金融機関からのお借換えにもご利用いただけます。(わしくは窓口まで)

夢 教師



北國銀行

北陸税理士会松任支部

税金に関する相談・書類の作成などを税理士以外の者が行うことは禁止されています。

(50音順)

氏 名	住 所	電 話	氏 名	住 所	電 話
猪 股 敏 郎	白山市末広1丁目	276-9620	長 永 勇	白山市八ツ矢町	275-0101
入 山 昇 賢	白山市三幸町	275-1548	長 沖 隆	白山市日御子町	272-3985
江 戸 守	白山市若宮2丁目	275-2578	西 坂 哲	白山市八ツ矢町	275-0101
奥 谷 善 一	白山市平加町	278-4311	新 田 陽一郎	白山市美川和波町	255-7725
小 原 修	白山市馬場1丁目	276-7382	野 崎 哲 男	野々市市太平寺4丁目	248-1452
片 山 豊 樹	野々市市矢作1丁目	246-7800	能 瀬 幸 信	白山市手取町	278-2397
釜 谷 華	野々市市住吉町	294-6410	橋 本 昌 信	野々市市二日市1丁目	248-2220
北 川 明 宏	白山市西柏2丁目	275-5787	橋 本 豊 隆	野々市市本町1丁目	246-6669
北 野 太慶雄	野々市市本町2丁目	248-1803	馬 場 正 夫	白山市千代野東4丁目	274-0502
木 戸 萬喜夫	野々市市本町3丁目	248-9711	林 斌 麗	白山市日向町	272-1268
城戸口 久 子	白山市鍛冶町	276-1446	番 匠 進	野々市市位川	246-0881
木 村 紀 代	白山市山島台4丁目	274-2129	番 匠 亨	野々市市位川	246-1919
黒 保 正 幸	野々市市本町5丁目	294-2003	東 出 松 雄	白山市福永町	277-2275
紺 村 斌	白山市倉光7丁目	275-4306	広 瀬 喜 一	野々市市御経塚3丁目	214-8730
坂 上 裕 宣	白山市八ツ矢町	276-3355	福 田 正 寛	白山市千代野東4丁目	275-8357
佐 藤 外志夫	野々市市栗田5丁目	220-7081	藤 田 正 春	白山市安吉町	275-4291
篠 原 芳 尚	白山市村井東2丁目	276-5382	細 川 清 悦	白山市新成1丁目	275-6848
下 川 一 郎	白山市橋爪町	274-0871	本 田 英 夫	野々市市御経塚3丁目	218-5506
新 家 利津子	白山市相木町	276-0041	増 田 博 信	白山市石同新町	276-0603
高 倉 祐 二	白山市田中町	274-6971	丸 山 三樹雄	野々市市本町6丁目	248-2919
高 橋 勝 巳	白山市村井東2丁目	276-2633	宮 田 隆 夫	白山市千代野西2丁目	275-2969
常 山 明 夫	白山市井ノ口町	272-0500	宮 西 邦 夫	白山市馬場2丁目	275-0488
中 嶋 満	白山市福留町	277-1196	宮 本 博 史	野々市市新庄2丁目	248-4490
中 嶋 憲 一	野々市市本町3丁目	248-0056	森 下 昭 夫	白山市青葉台1丁目	274-2728
中 西 良 彦	白山市馬場2丁目	274-0248	吉 田 邦 英	白山市湊町	278-4188
中 村 敦 夫	白山市美川中町	278-5246	吉 村 清	白山市成町	275-4065
中 村 猛	野々市市矢作1丁目	246-7800	吉 森 賢 治	白山市東柏町	275-8401
中 村 弘	野々市市新庄1丁目	248-4641			

平成24年 地域社会へ一層の貢献活動に努めます

監 事 小 村 林 宮 下 田 吉 番 瀬 佐 篠 林 池 吉 町 理 事 西 南 野 宮 瀧
 他 編 委 員 一 同 野 田 西 川 村 田 野 戸 賀 原 森 田 村 崎 森 元 副 会 長 金 谷 長
 健 義 斌 邦 一 紘 欣 正 克 芳 幸 政 隆 美 規 一 哲 紀 達
 一 勝 麗 夫 郎 一 保 弥 彦 浩 尚 子 宏 男 壽 夫 雄 男 好 雄 平

石川税務
連絡協議会